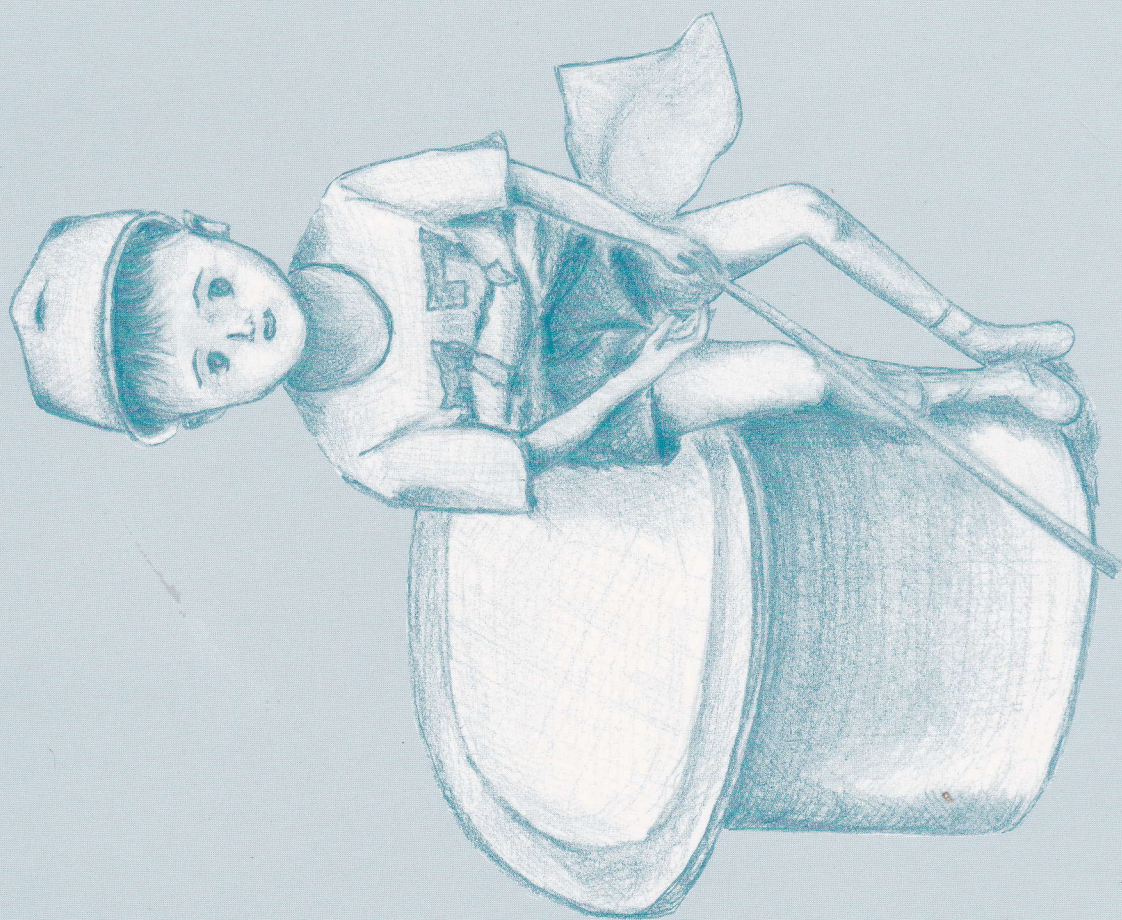


心に屋根がなかつた...

あの瞬間^とをさがしたい



大阪市立大学学生歌

一、聞けや大和の清流に

久し歴史の足音を

今にないゆく 若人の

果てぬ希望の前進を

吾等 つくさん その使命

二、見よやあけゆく日の本の

自由の光照らす世を

叡智にさゆる 眼もて

そびゆ科学の殿堂に

吾等 究めん その真理

大阪外国語大学学生歌

Gaigo will shine tonight

Gaigo will shine !

Gaigo will shine tonight

all down the line !

Gaigo will shine tonight

Don't they look fine !

When the sun goes down

and the moon comes up

Gaigo will shine !

Varsity

Varsity ! Varsity !

Osaka Gaikokugo Daigaku !

Praise to thee we sing,

Praise to thee our alma mater

U. Rah Rah !

Osaka Gaidai !

奈良女子高等師範学校々歌

作詩 貞明皇后

春の山より
花の香る
風を
かき
よみ
て

いづれや花の
ほろけの
あま

源の
水は
清く
流る

重なる
花の
香る
風を
かき
よみ
て



ごあいさつ

私達はそこで何を感じるのか——

私共三団は、今宵の合同演奏でお送りする『幼年連禱』のイメージから、このコンサートのタイトルを決めましたが、皆さんにはピンと来ないかも知れません。おそらく曲自体が何を云わんとしているものか、すぐには解らないのではないのでしょうか。歌う側でさえ、初めは理解出来なかった。三団集まって歌い込んで、やっとこの曲の深さを感じ始めたところです。失ってしまった幼年時代の感性に問いかける、一人の大人の感性。それを青春の真只中を生きる私達の感性でうたう。

私達はそこで何を感じるのか。何を伝えられるのか。雰囲気も個性も形態も異なる三団が、客席と一体となってそれを共感できた時、今宵のコンサートは成功だと思います。

それぞれの思いを込めて、精一杯歌いたいと思います。

ジョイントコンサート実行委員長 榊 原 昭 裕

メ ッ セ ー ジ

心の繋がりを

ジョイント・タイトル「心に屋根がなかった……あの瞬間をさがしたい」、なんとしゃれたネーミングでしょうか。これにはなにか、ウラがあるなあと、思っていましたら、関西合唱連盟の重鎮、日下部吉彦先生を客演に「幼年連禱」を聞かせる、特に音楽性をもって定評のある先生のことですから、そこには三大学の学ぼうとする、高い指針が感じられ、敬意を表わしたい気持で一杯です。

ですから、このコンサートをベースに、音楽的な巾を一層研かれましたら、三大学のこの貴重な体験が今後の活動に良い結果を与えること間違いないと確信しています。

大阪市立大学合唱団フリーデ、大阪外国語大学グリークラブとも、客演指揮者として私と一緒にステージに立った懐かしい経験があります。それに加えて、技術顧問をしている、わが奈良女子大学音楽部があります。私にとって最も身近な皆さんが、唯演奏会の成功だけでなく、この繋がりを大切に善いコミュニケーションが出来たならば最上のものと云えましょう。

奈良県合唱連盟理事長
関西合唱連盟副理事長 山 本 寿 太 郎

Program

I . 大阪市立大学合唱団 フリーデ

混声合唱組曲「心の四季」

- 1 風 が
- 2 みずすまし
- 3 流 れ
- 4 山 が
- 5 愛そして風
- 6 雪の日に
- 7 真昼の星

作詩	吉 野	弘
作曲	高 田 三	郎
指揮	佐 藤	知
伴奏	森 口	恵

II . 大阪外国語大学グリークラブ

「Sea Chanty」

- I . Blow The Man Down
- II . Shenandoah
- III . Spanish Ladies
- IV . Lowlands
- V . Sailing Sailing

指揮 下 社 学

~~~~~ Intermission ~~~~~



### III. 奈良女子大学音楽部

#### 女声合唱曲「抒情小曲集」より

朝 に

秋

しらさぎらんぶ

白鷺乱舞

せいれつ

清冽の詩

|    |     |     |
|----|-----|-----|
| 作曲 | 鈴木  | 憲夫  |
| 指揮 | 増田  | 美奈子 |
| 伴奏 | 木下  | 郎子  |
| 作詩 | 立原  | 道造  |
| 作詩 | 八木  | 重吉  |
| 作詩 | 中村  | 泰三  |
| 作詩 | こやま | 峰子  |

### IV. 合同ステージ

#### 混声合唱組曲「幼年連禱」

I 花

II 不眠

III 憧れ

IV 熱

V 喪失

|      |     |    |
|------|-----|----|
| 作詩   | 吉原  | 幸子 |
| 作曲   | 新実  | 徳英 |
| 客演指揮 | 日下部 | 吉彦 |
| 伴奏   | 石塚  | 富美 |



# 大阪市立大学合唱団 フリーデ



## 団 紹 介

拝啓 FRIEDEはこの人なしでは語れない3回生部長ゴミばこはリコール、港の男石原裕次郎とはブンリー、トトロなる佐藤サッカ男は指揮者おっさん石川はいつも住所不定ツルを追跡、彼女も一応指揮者である。うっうるさいギャハハ族さん、ゴリその横には必ずボス猿リー彼女らを冷たく見守るのはあほ口じゅん、花しかしその上をいくのはデカ鼻イトー彼はカムバック野村と仲が良さそう。天然肩パット豊田どかただったばびいは4回だ。いつもお疲れ鬼頭、大谷美人峯野ペラのムチは痛いよ三賢バレーボールいとちん寝るなエロ坊頭あっこパンフの表紙も描けるよひーこギャグはまかせて高田も認めるのはボンの頭のでかい事。しかしもっとでかいのは大声嘘言耳無音恥ウシの頭63。うしの悪友のりだー名字は仮面、彼女の仲良しはおっとりんとん、ねーや明石原人松門は大食いだ。多忙男天と同じサークルに属するのはヤンキーモンキー成ギタ男慎とは性格があいそうもない。よだれ安達と薬物野上は理学部だ。あひるかごPは理性の人格者(!?)座高怪人たみあは早食いだ。デラべっぴん榎並と「オレ医学部やねん」大嘘つき中山はどこか似ている。しかしフリーデいち変なのは鼻血みやちこと保毛男田保毛男、彼をさえ優しく(!?)見守るのは羽ばたく眉の正指揮者山である。現在かわいい一回生を迎え、彼らの知られざる内面を観察中。

敬具

## 指揮者紹介



### 佐 藤 知

○月△日土曜日PM3:00練習開始の時間だ。でも副指揮者の佐藤がいない。佐藤はフリーデとサッカー部を掛持っている。今日はその練習で遅れて来るのである。それにしても体育会との掛持でよく体が持つんだ。まあ、見るからに丈夫そうだけど…。佐藤が来るまでは正指揮者の山が発声などやっている。御苦労なことだ。PM4:30やっと佐藤が来た。あれ、右目の上をけがしてるぞ。ミナミでけんかでもしたのかな? しやうがない奴だ(本当はサッカーの練習で切ったらしい)。さて、佐藤の練習だ。サッカーの疲れを全く感じさせない彼の練習は豪快且つ、繊細である。あっという間にPM6:00、練習終了だ。いや〜、今日も楽しい練習だった。うん。

## 伴奏者紹介



### 森 口 恵

“もりぐちめぐみ”さんこと通称メメさんは目がぱっちりしていて可愛いのですが、表情はあまり変わりません。話をしていると石野陽子の声に石原裕次郎の性格を合わせたような感じで物静かに喋ります。別にクールな訳ではありません。単に反応が鈍いだけ…でも鍵盤上の指の動きは確かです。今宵の彼女の伴奏をお楽しみに!!



## 混声合唱組曲「心の四季」

人の心に深く刻まれた出来事というものはその時の季節が巡ってくる度に思いだされるものである。

ある人を思いながら窓の外を流れる春の息吹を感じる……春

目を覆いたくなるような太陽の強い日ざしの中で真っ黒になって白球を追いかけた……夏

もみじの葉が一枚そしてまた一枚と落ちていくのを見て、寂寥感におそわれ、一人になりたくなる……秋

幾層にも重なった灰色の雲から落ちてくる雪を見て思わず外に出てはしゃぎたくなる……冬

こんな思い出ありませんか。木が年を越すとひとまわり幹が太くなるように人も四季を感じながらひとまわり成長するのです。そんな心の四季を本日お聴きの皆様に感じていただければ幸いです。

## 1 風 が

風が桜の花びらを散らす  
春がそれだけ弱まってくる  
ひとひととひら舞い落ちるたびに  
——人は 見えない時間に吹かれている

光が葡萄の丸い頬をみかく  
夏がそれだけ輝きを増す  
内に床しい味わいを湛え  
——人は 見えない時間にみがかれている

雨が銀杏の金の葉を落とす  
秋がそれだけ透き通ってくる  
うすいレースの糸を抜かれて  
—————

雪がすべてを真白に包む  
冬がそれだけ汚れやすくなる  
汚れを包もうと また雪が降る  
——私は見えない時間に包まれている

## 2 みずすまし

一滴の水銀のような みずすまし  
やや重く 水の面を凹ませて  
浮いている 泳いでいる  
そして 時折 水にもぐる

あれは 暗示的なこと  
浮くだけでなく もぐること

わたしたちは  
日常という名の 水の面に生きている  
浮いている だが もぐらない  
もぐれない ——日常は分厚い

水にもぐった みずすまし  
水の深さは わずかでも  
水の阻みに出会う筈  
身体を締めつけ 押し返す  
水の力に出会う筈

生きる力を さりげなく  
水の中から持ち帰る  
つぶらな可憐な みずすまし  
水の面に したためる  
不思議な文字は 何と読むのか？

みずすまし——  
あなたが死ぬと  
水はその力をゆるめ  
むくろを黙って抱きとってくれる  
静かな静かな 水底へ  
それは 水のやさしさ  
水すすましには知らせない  
水の やさしさ

## 3 流れ

岩が しぶきを あげていた  
深みを渡る 馬のよう  
青い流れを噛みながら  
ひとつところに 阻まれて

魚が ひっそり 遡る  
岩のほとりを 川上へ  
強靱な尾で 水を蹴り  
速い流れを 貫いて

岩が しぶきを あげていた  
あきらめ知らぬ 馬のよう  
魚が すどく 遡る  
強靱な尾で 水を蹴り

逆らうにしても それぞれに  
精一杯な仕方がある  
凛々しい魚は 遡る  
武骨な岩は 水を噛む

魚は岩を いやしめず  
岩は魚を おとしめず  
青い流れを送り迎え  
それがいかにも爽やかだ

流れは 豊かに 大らかに  
むしろ卑屈なものを  
押し流していた 川下へ  
押し流していた 川下へ

## 4 山 が

山が 遠くから  
人の心を とりこにする

人が その心を  
さがしにゆく

それで  
身体ごと とりこになる

## 5 愛そして風

愛の疾風に吹かれたひとは  
愛が遙かに遠のいたあとも  
ざわめいている  
揺れている

風に吹かれて 枯草がそよぐ  
風が去れば 素直に静まる

ひとだけが  
過ぎた昔の 愛の疾風に  
いくたびとなく 吹かれざわめき  
歌いやめない ——思い出を

## 6 雪の日に

雪がはげしく ふりつづける  
雪の白さを こらえながら  
欺きやすい 雪の白さ  
誰もか信じる 雪の白さ

信じられている雪は せつない  
どこに 純白な心など あろう  
どこに 汚れぬ雪など あろう

雪がはげしく ふりつづける  
うわべの白さで 輝きながら  
うわべの白さを こらえながら

雪は 汚れぬものとして  
いつまでも白いものとして  
空の高みに生まれたのだ  
その悲しみを どうふらそう

雪はひとたび ふりはじめると  
あとからあとから ふりつづく  
雪の汚れを かくすため

純白を 花びらのように かさねていって  
あとからあとから かさねていって  
雪の汚れを かくすのだ

雪がはげしく ふりつづける  
雪はおのれを どうしたら  
欺かないで生きられるだろう  
それが もはや

みずからの手に負えなくなってしまうかの  
ように  
雪ははげしく ふりつづける

雪の上に 雪が  
その上から 雪が  
たとえようのない 重さで  
音もなく かさなってゆく  
かさねられてゆく  
かさなってゆく かさねられてゆく

## 7 真昼の星

ひかえめな 素朴な星は  
真昼の空の 遙かな奥に  
きらめいている  
目立たぬように——

はにかみがちな 綺麗な心が  
ほのかな光を見せまいとして  
明るい日向を  
歩むように——

かがやきを包もうとする星たちは  
真昼の空の 遙かな奥に  
きらめいている  
ひそやかに 静かに——



# 大阪外国語大学グリークラブ



## 団 紹 介

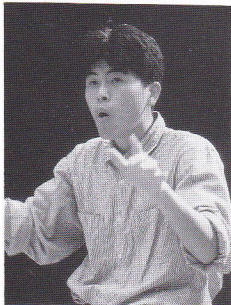
—大阪外国語大学グリークラブの実体を探る—

巷のバイリンガル至上主義が波及し、大阪外大も今や女子大化への一途を辿らんとしている。その中の十数ダースの新入男子学生をめぐる争いからグリーの一年は始まるのである。奇妙な集団グリークラブという学内の一般観念をびっかぴかのジャニーズ集団（当然、黄色い歓声も飛んで欲しいねえ）へと昇華させるべく新入生を選りすぐるのである。然しながら人種の坩堝に投下され、彼等の自我構造は崩壊し、カタストロフィーへと加速してゆくのだ。この淘汰をクリアした者こそが真のグリーメンとして認められるのである。

さてここで彼等の学内行動を眺めてみよう。赤トレーナー又はグリージャンパーに身を包み学内を闊歩する。時には右手にピアノカを下げている。たまに学内演奏をするが、留学生を前に堂々と外国語の曲を歌うという暴挙に出してしまうことが多々ある。果してネイティヴ・スピーカーに曲の内容が理解されているか否かという謎は、未だ解明されてはいない。

そういう外大グリークラブが森の都箕面から御当地国際交流センターへとやって来ました。山の男大阪外国語大学グリークラブ、今宵は Sea Chanty で海の男を演じます。大海原に想いを寄せて聴いて下さい。

## 指揮者紹介



### 下 社 学

とってもさわやかでカッコよく、かつ気つぶが良くてお尻もちっちゃい「しもやしろまなぶ」さんは、僕たち外大グリーメンの憧れの指揮者さんなのです。

ただ、時々僕たちが不安に襲われるのは、ちょっとHな話で盛り上がっているときの、下社さんのあのちょっとHな目の輝きを見たときなのです。はっきり言って下社さんは「好き者」です。クラブ内の一部では「下のコト学ぶ先輩」とも呼ばれています。

ラーメン屋のウェ이터を勤めて、はや2年になろうとしている下社さんは、「2年続けたら、調理士免許が取れるんや。ええやろー、アハハ。」と一人でしゃいでいます。一体何を考えているのかさっぱり分かりません。

それはそうと、下社さんは最近海外旅行に凝っているみたいです。去年の夏、シベリア鉄道無賃乗車の末、東欧を放浪してきたかと思うと、こないだの春休みには、ラーメンの本場、中国に高飛びして、四千年の味を研究してきました。ちなみにその旅行の間下社さんと同じラーメン屋で働く、クラブ内のある下級生の労働時間が増えまくったのも事実です。

これだけパーフェクトに近い下社さんでも、いま三步なのが女性関係のようなのです。冬の「第三次コタツで女の子とみかん計画」も、成果はあまり芳しくなかった模様です。どなたか救いの手を差し伸べてあげて下さい。できる事なら、僕が救ってあげたいのですが、そうもいかないのが人類の永遠のテーマなのであります。ともあれ今夜は、Sea Chanty 5曲を、とってもさわやかでカッコよく、かつ気つぶが良くて可愛らしい、その腕にマスマス磨きのかかった下社さんがバッチリ振って下さることでしょう。お楽しみに。



## II. Stage

### 「Sea Chanty」

太古の昔より海上による移動手段の利用は人間の生活に大きな利益をもたらしましたが海の男たちの仕事は決して楽なものではありませんでした。そんな過酷な労働の中かけ声を合わせていたものが旋律をもち歌となります。さんさんと照りつける太陽の下で一人の男が口にした酒落が次々に続けられ言葉遊びの歌が生まれたこともあったでしょうし、水平線に真赤な夕陽が沈むとき、遠く離れた恋人へはせる思いが歌になったこともあったでしょう。立ち寄った港町での短い滞在中に芽生えた恋心をセンチメンタルに歌い上げ、ナンパしそこなった船友をからかいあざける歌もうたわれました。今回演奏するのは英米水夫らの歌ですが、ボルガの舟唄のロシア民謡におけるものや最上川舟唄などとも言わば日本版シーシャンティーと言えます。

海の男たちの豪傑さ、愉快さ、繊細さを伝えられるような演奏ができればと思います。

#### 1. Blow The Man Down (ヤツをぶっとばせ)

ヤツをぶっとばせ、ヤツをぶっとばす間ちょっと待っててくれ。  
港を出る5月13日、帆もはためき いい風がやって来たのさ。  
パラダイス通りを歩いていたら イカしたあの娘とばったり。  
「ポリー、ごきげんいかが？」ときいたら「ええ、あなたなんかになんかに会わねりやね」だってよ。  
そうさ、おれたち水夫は ヘボ職人のようなものさ。  
そして今度は みんなで君に会いに行くよ。  
だからヤツをぶっとばして リバプールへおくってしまうのさ。

#### 2. Shenandoah (シェナンドー)

おお、シェナンドー、川の流れをききながら君を思っているよ。  
おお、シェナンドー、君に会いたい、悠々と流れるミズーリー川を越えて。  
君の微笑、あれから七年が過ぎた。  
あのときめきを 胸に抱いて、はるかなミズーリー川を越えよう。

#### 3. Spanish Ladies (さようなら セニョリータ)

さようなら セニョリータ。  
おれは国へ戻るけど きっと再びおまえに会いに帰ってくる。  
七つの海の上で 雄々しい叫びをあげるのが おれたちイギリスの船乗りだ。  
懐しの地に いかりを降ろすまで。  
南西の風を帆にはらみ、さあ酒を飲み干そう。  
オレたち真のイギリス水夫には酔って歌うのが一番なのさ。

#### 4. Lowlands (ローランズ)

はるか懐しのスコットランドは遠く。  
夜ごと夢の中にあらわれるのは おまえのこと。  
おまえの瞳は白く透きとおっているかのよう。  
けれど 気付いた時には 夢もさめてしまうのだ。

#### 5. Sailing, Sailing (さあ出航だ)

さあ、出航だ。果てしなく広がる大海原へ。  
だから ジャックが戻る前に 嵐は吹いてしまってくれ。  
諸君！今こそ大風はやみ、快ちよい風が船尾へぬけ、  
この堂々たる わが船こそが 勇ましくかじを切るのだ。  
でも今宴、しばし うたげを楽しもう。  
さあ、水夫に、そして戦士に乾杯！  
故郷を メソメソ懐しむ心を 置き忘れてしまうほど  
海は青く広がっているぜ。



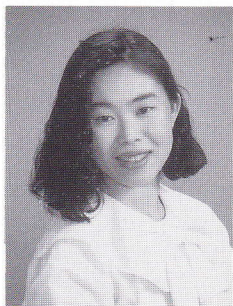
# 奈良女子大学音楽部



## 団 紹 介

昨年の奈良合唱祭のブラカード行進では「♪もしもし奈良女奈良女さん あなたの団はどんな団? 明るく歌って踊ります。そういうあなたはどんな団?」とつじつまの合わない矛盾だらけの歌を正々堂々と歌い黒いゴミ袋しょって踊りまくり、みごとハッスル賞をもらいました。また〇〇息の荒さにも定評がありますがとにかく私達は仲が良い!! かわゆい一回生、先行き頼もしい2回生、いつまでたっても色気の出ない3回生、何かと華やかな4回生と学年のカラーは様々ですが、みんな歌うことが大好きな仲良しなんです!! ついでに踊るのも好きだったりして…少人数だけれど声の大きさだけは自信があります。我が団の愛唱歌リゲインとともにたくましく、雄々しく成長した私達。一人ではうまく歌えないけれど、みんなで歌うと美しく、のびやかなハーモニーとなることを私達は知っています。大切に大切に育ててきた“ハーモニーの美しさ”，そして“こ とば”が今夜皆様の心に伝わることを思います。

## 指揮者紹介

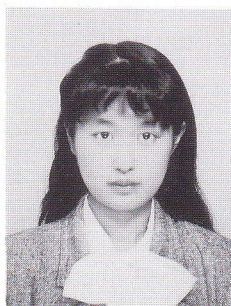


### 増 田 美 奈

まっさんは、目で指揮します。よく動く大きな目は彼女の表現力の豊かさの象徴であると同時に我が団のエンマの鏡なのです。彼女に秘めごとは通用しません。その情報網で彼女の右に出る人はおそらくいないでしょう。しかしこれも明るく陽気な彼女の徳のなせる術です。そんな彼女のモットーは、強く賢くしなやかに!! だそうです。

このモットーにのっとり正指揮として大きく翔いてゆくりゲイン増田に期待して下さい。

## 伴奏者紹介



### 木 下 朗 子

去年一年ですっかり“花に寄せて”のイメージが定着したきのちゃん先輩、彼女のもつしとやかでほんわかとした雰囲気は、そこにいるだけで周りの人を幸せな気分にしてくれます。私達とひとつになって曲をつくり上げてゆく彼女の姿を見ると、音楽のために生まれてきたような貴女だなあと思わずにはいられません。彼女のピアノあつての我が団です。彼女のピアノと笑顔とが今夜のステージをさらに盛り上げてくれるでしょう。



## 女声合唱曲「抒情小曲集」より

私たちは、何とさまざまな心に出会っているのでしょうか。そして、何となくさんの心とすれちがっているのでしょうか。

例えば、風。忙しい毎日の生活の中で、その存在をも忘れてしまいがちですが、ふとした時に、その風の中にいろいろな思いを感じるのです。——喜び、悲しみ、いつくしみ、怒り、さびしみ……

この鈴木憲夫氏の「抒情小曲集」に出会った時、私はふと“風”に触れました。いずれも小品で抒情的な雰囲気を持つことからまとめられた曲集ですが、今回演奏を試みる四曲には、それぞれの“風”があり、そしてそれは全体を通して流れている風なのです。

小曲と言っても、奥深い詩情とダイナミックな音楽性をもったこれらの作品を、私たちが一つの流れをもって、表現できたらと思っています。はたして、皆様は私たちからどんな“風”を感じ、どんな思いを抱かれるのでしょうか。

## 朝 に

立原道造

おまへの心が 明るい花の  
ひとむれのやうに いつも  
眼ざめた僕の心に はなしかける  
〈ひとときの朝の この澄んだ空 青い空

傷ついた 僕の心から  
棘<sup>とげ</sup>を抜いてくれたのは おまへの心の  
あどけない ほほえみだ そして  
他愛<sup>たあい</sup>もない おまへの心の おしゃべりだ

ああ 風が吹いてゐる 涼しい風だ  
草や 木の葉や せせらぎが  
こたへるやうに さわめいてゐる

あたらしく すべては 生れた！  
露がこぼれて かわいて行くとき  
小鳥が 蝶<sup>てふ</sup>が 昼に高く 舞ひあがる

## 秋

八木重吉

秋が くと いうのか  
なにものとも しれぬけれど  
すこしずつ そして わずかにいろづいてゆく  
わたしのこころが  
それよりも もっとひろいもののなかへ  
くずれてゆくのか

## 白鷺乱舞

中村泰三

流れ行く 雲はちぎれて  
ちぎれ ちぎれて  
光まぶしい 翼になった  
白鷺<sup>しらさぎ</sup> 白鷺  
青い 青い空に 舞いあがる  
舞いあがる 白い翼よ  
幾百の 幾千の  
乱れ翔<sup>と</sup>ぶ 白い翼よ

水清く  
野は みどり豊かに  
むらさきに かすむ山山  
きんいろの林 はるかに

澄みわたる大空<sup>のぞみ</sup> 希望ひろがる  
ああ 翔べよ 翔べ 白鷺  
翼たくましく  
強く生きる 生命<sup>いのち</sup>を讃えて  
たからかに  
歓喜<sup>よろこび</sup>の歌 うたうのだ

あがれ あがれ 白鷺  
まわれ まわれ 白鷺  
青い空に  
夢は 果てしなく  
きらめき 光れ 白い翼  
はばたきの音も高く  
響け 響け 歓喜の歌

## 清冽の詩

こやま峰子

朝もやのなか  
清らかなひとすじが 岩間をはしる  
眠りのペールをぬぎすてて岩間をはしる

陽ざしをむかえ  
金色のひとすじが谷間をかざる  
生命の息吹は たち装い谷間をかざる

やがて流れのひとすじは  
鬼神のように はしりつづける  
岩にのり 岩をこえて  
荒れ狂う剣  
踊り狂うしぶき  
恐しい神々の叫びは  
山々への告別の歌

いつか荒々しい神も  
つかれはて  
眠るように流れていく  
眠るように流れていく



# 合同ステージ \*\*\*\*\*

## 混声合唱組曲「幼年連禱」

だれもが、幼い日の自分へのノスタルジーを持っている。純粹だったあのころ。しかし、いつも、早くおとなになりたい、と思っていた。おとなへの憧れ。背のび。そしていま、そのおとなになって思うこと。あのころはよかった。幼い日に体験した、さまざまな喜び、悲しみ、苦しみのすべてが、いま、美しく蘇ってくる。

出来ることなら、もう一度あのころに帰りたい。おとなの醜さ、不純さ、無感動。こんなはずではなかったのに…。もはや、あのころには帰れない。しかし、やはり帰りたい。幼年への祈り。

新実徳英は、第1曲《花》を、1977年に作曲し、3年後に5曲全曲を完成した。吉原幸子のナイーブな詩。

①《花》 幼い日の春に見た桜の花。しかし、その花びらは、透きとおった血をにじませ、花びらが散るように、私の生命は失われてゆく。あんなに美しかった桜の花が、いまの私には、まるで弔花のように見える。

②《不眠》 眠れぬ夜があった。カチカチカチカチ、時計の音ばかりが耳につき、見えるのは、断片的な幻覚ばかり。海、悲しい顔をしたさかな、砂浜、さかなの幽霊。さざなみ、海亀、朝陽と夕陽と、過ぎゆく時間と、ちっちゃな時計。カチカチ、カチカチ。

③《憧れ》 あのころは、何でも透きとおったものがほしかった。透きとおったものが好きだった。セロファン、赤や青のオブラートの魚、ゼリーのお菓子、ビー玉、薄緑色のおはじき、ガラスの石けり石。

それから、花のつゆをしぼった色の、色水屋さんごっこをして遊んだっけ。妙に印象的なのは、霧の夜のネオンサインだった。

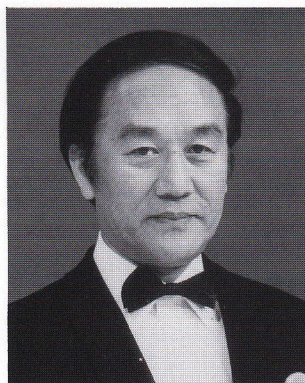
④《熱》 病気をした。熱にうなされると、いろんな幻覚が迫ってくる。巨大ななめくじが、のしかかってきて、押しつぶされそう。わきの下に突き刺さる体温計の冷たさ。薬のひまし油が、池のように大きく広がり、その池に赤い月が浮かんでいる。

⑤《喪失》 小ちゃくなりたい。おとなは、もういやだ。あのころに帰りたい。何を見ても感じなくなったいま。あのころは、あんなに感じやすかったのに。涙も出なくなった。泣けなくなってしまったいま、そのことが悲しくて、泣いている。

(日下部吉彦)

### 客演指揮

#### 日下部吉彦



合唱指揮者。全日本合唱連盟常務理事、関西合唱連盟会長。日本合唱指揮者協会相談役。

学生時代は、同志社グリークラブを指揮し、卒業後は、OBのクローバークラブを指揮して、全日本合唱コンクールで3年連続優勝の快挙を成し遂げる。

最近、シノポリ指揮のフィルハーモニア管弦楽団、A・デイビス指揮のBBC交響楽団での、マーラーの交響曲（第8と第3）の合唱指揮を担当し、絶賛を浴びた。

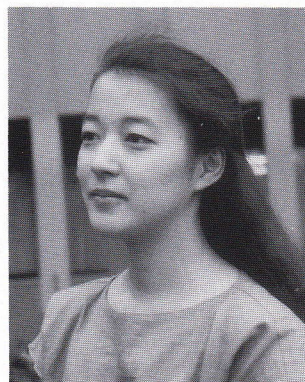
また音楽評論家としても、雑誌や新聞に執筆して活躍、一方、朝日放送の解説委員として、ラジオやテレビに常時出演。

ナイトinナイトでもおなじみの日下部先生、厳しい練習の合い間にもユニークな語り口で私達を楽しませて下さいます。

今宵の合同ステージでは、先生の「幼年に対する思い」を皆様と分かち合い、皆様の中の「幼年」に思いをはせることができましたら幸いです。

### 客演伴奏

#### 石塚富美



相愛高等学校音楽科を経て相愛大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。

南部明子氏に師事。合唱では大森栄一氏に師事。

「ぼけー、きょとん」で形容される（＝おっとり）石塚先生からぼろりと出る指摘やもののたとえは、たった一言ながら、的をついており、納得させられます。美人の上に、それでいて私たち学生の気持ちをよくわかって下さる私たちの石塚先生、今宵は先生の美しいピアノがみなさんを魅了することでしょう。



# \*\*\*\*\* IV. Stage

## 幼年連禱

吉原幸子

### I 花

幼い春の  
わらふ 日ざしの  
桜の花の 花かざり  
  
しなやかな陸の貝がら  
吹きはがされた空のうろこ  
花びらは  
透きとほった血をにじませて ひとひらひとひら 死んでゆき  
傷口をつなぐ 白いもめんいと

そのやうに  
絶えず枯れてゆく 時と時とを  
貫き つなぐ  
ひとすぢの閃光  
思惟の あらゆる頁を縫ひすすむ  
ただ一台の  
蒼ざめた機関車  
さんさしおん<sup>(注)</sup>!

花わをつくって あそぼうよ なみだたち  
ああ 死んだ わたしの時たち

だがこの桜に タぐれはいま濡れようとし  
白いもめんいとのかすかにけぶるささくれ

### II 不眠

かちかち、かちかち、  
おまへの、かぞへて、  
おまへの、あはせて、  
とんでく、じかんが、  
おほきな、うねりに、  
ゆれてる、ひとりの、  
かなしい、さかなの、  
ひとりの、しにたい、  
さかなの、いうれい、  
きれいな、いうれい、  
たべちゃへ、たべちゃへ、  
はだしの、すなはま、  
たひらな、さざなみ、  
ならんだか、きらひだ、  
かはいそ、かはいそ、  
ないてる、うみがめ、  
なみだと、かひがら、  
かなでて、ならして、  
こんなに、きいろい、  
きいろい、あらしだ、  
かってに、とぶんだ、  
さやさや、さやさや、  
あさひと、ゆふひと、  
ちっちゃな、とけいと、  
いつまで、かちかち、  
かちかち、かちかち、

### III 憧れ

すきとほったものがほしい  
すきとほったものが 好き  
  
いろんないろのセロファンで包んだ  
きれいな つま揚枝があった  
それから  
てのひらにくねる  
いつまでも裏返ってくる 赤や青のオブラートの魚  
ゼリーのお菓子  
ビー玉  
うす緑いろの おはじき  
ガラスは泡ごと固まってゐて  
のらくろのかほのついた 黒い石けり石

それから  
花のつゆをしほって いろ水やさんごっこ  
手もそまる  
憶ひもそまる  
それから  
霧のよるネオンサイン  
それから  
  
すきとほったものが好きだった  
あの  
すきとほったものたちがほしい  
いろんないろの

### IV 熱

夕やみ  
半透明の 巨大ななめくぢ  
庭のすみから 匍ひよってくる  
  
おしつぶされる  
なめくぢの重み  
  
けむりいろした  
いのちの重み  
  
わきのしたに 突きささる  
水銀柱の つめたい痛み  
  
けふはなんだかつかれちゃったのに  
かなしむのは もう いやだなあ  
  
ヒマシ油の池に 青みどろ  
ヒマのとげとげに 赤い月  
  
おぼれる  
おぼれる  
いのちがかなしい  
  
ああ 匂ふ  
めすのいてふに 高く  
わたしのつくった風信機はまはってゐる

### V 喪失

——小ちゃくなりたいよう!  
——小ちゃくなりたいよう!  
  
誰がそれを罰してくれたらう  
うすら笑ひに もう手おくれ  
失ったまま 知らなくなつて 長いときがたつて  
わらはないでいいひとが わらふのだった  
死なないでいいけものが 死ぬのだった  
さうして わたしはもう泣けなくなつてしまった——  
  
ひどく光る太陽を 或る日みた  
煙突の立ちならぶ風景を 或る日みた  
失ったものは 何だったらう  
失ったかほりに 何があつたらう  
せめてもうひとつの涙をふくとき  
よみがへる それらはあるだろうか  
もっとにかい もっと重たい もっと濁った涙をふくとき  
  
わたしの日々は 鳴つてゐた  
——大きくなりたいよう  
——大きくなりたいよう  
いま それは鳴ってる  
——小ちゃくなりたいよう!  
  
空いろのビー玉ひとつ なくなつてかなしかった  
あこの涙 もう泣けなくなつてしまった  
  
もう 泣けなくなつてしまった  
そのことがかなしくて いまは泣いてる

注) さんさしおん：フランス語【sensation】、  
英語ではセンセーション。感動の意。



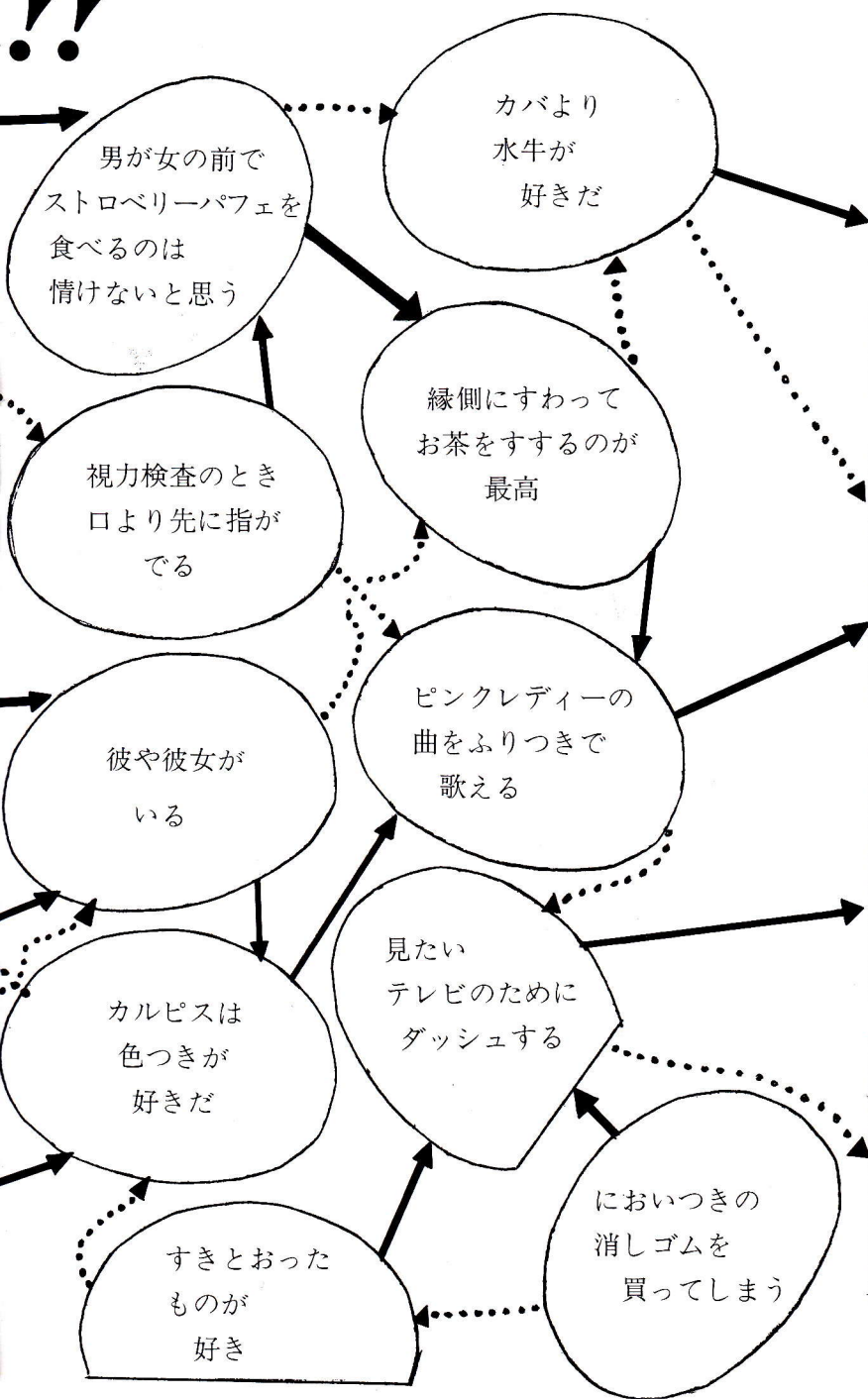
Yes → あなたの  
No ..... チヤイル度 Check



御宴会コンパ承ります

阪和線杉本町駅前(杉本町店)  
TEL (06) 654-0154  
近鉄南大阪線道明寺駅前(道明寺店)  
TEL (0729) 38-9267





## 1. 100%ガキだよーん

きみは、たとえ人からジャリ、ガキ、子供、幼稚園といわれよーとも100%ガキなのだからしやあないわ。まあ、あっさりこの現実をみとめることだな!!期待してるよ。

## 2. やっとこさ思春期!?

きみは、いま思春期の真っさい中。人のいうことなんかききやあしない。ちょっとは、聞けよとつっこまれても、“わたしのことなんかほっといて”とgoing my wayまあせいぜい人に嫌われることだな!!期待してるよ。

## 5. 神さま、私でも大人になれるでしょーか?

きみは、妖怪人間ベム、ベラ、ペロのごとく、せいぜい“早く大人になりたーい”と、叫んどくことだな!!まあ、その夢はかなわぬ夢となることだろーよ!!期待してるよ。

## 4. 大人じゃあ~~~~ん

きみは、すうーっかり大人じゃあーん、あとは、残り少ない余生を、老人ホームの資金の貯蓄のために働くことのみ!!期待してるよ。

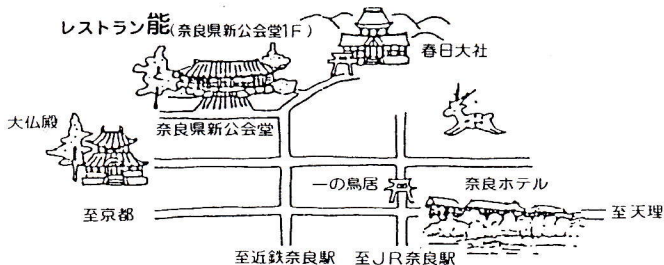
RESTAURANT

能  
Noh

眼前に千古の萬葉の庭を望み  
古都のしじまにひたりながら  
奈良ホテル シェフ自慢の  
お料理の数々を  
ワインとともに  
心ゆくまで お楽しみください

10:30a.m. オープン(定休日 月曜日)

レストラン能(奈良県新公会堂1F)



(徒歩で大仏殿より5分・奈良ホテルより15分)

奈良ホテル 庭園レストラン能 ☎0742-27-0620



しずけさとやすらぎの

ビジネスホテル

## ニュー たかつじ

奈良市芝辻町4丁目12-5

(近鉄新大宮駅北側)

☎0742-34-5371(代)

花博会場に一番近いユースホテル

大阪市立

## 長 居 ユース・ホテル

TEL (06)699-5631

### さやま遊園(SAYAMA YUEN) YH 合

ホールにピアノ有り、音楽合宿に  
便利です。どうぞ御利用下さい。

〒584 大阪府富田林市青葉ヶ丘40

●大阪駅(●地下鉄御堂筋線8分)

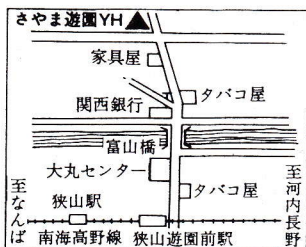
難波駅乗換え(●南海電鉄高野線

25分) 狭山遊園前駅下車(●8分

<500m> 狭山遊園と反対側に行く。)

狭山駅で下車しないこと。

☎0723-65-3091



## レストラン みのお

箕面市今宮221 TEL (29) 7758

4208

当店のメニューはすべて自家製です。

めずらしい宅配のお好み焼  
ら、亭だけのおいしさを  
ぜひ、あなたにも!!

豊中市上新田3-1-9

スタジオ 108千里



ら、亭千里店

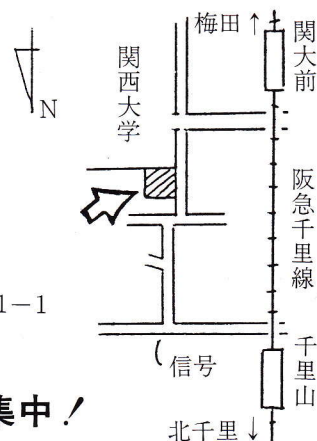
〔アルバイト募集中〕  
⑧ 要原付免許  
TEL. 06-834-8249

## お食事 ヒット

吹田市千里山東3丁目11-1

TEL (06) 386-7828

アパート入居募集中!



中華三千年の味を今すぐあなたに!!

株式会社 餃子の **王将** チェーン

多くの方の御来店をお待ち致しております。

箕面店 箕面市栗生新家1丁目3番5号 ☎(0727)29-9868

ただ今 アルバイト大募集!

## 夢と若さと愛情と正義 感を大切にする会社!!

スタッフ募集

マーケティング・クリエイティブに興味のある方

社員(来春卒業)・アルバイト(h700~)

株式会社 **進研アド**

豊中市寺内2-4-1 緑地駅ビル3F

問い合わせ ☎ (06) 866-0875(代) 担当 小西



tea&pizza

# ABC

- \*全てのお食事にドリンクをサービス。
- \*100円アップでボリュームがジャンボに。
- \*ドリンクお代わり半額サービス!

パーティー・コンパ予約受付中

阪和線杉本町駅前 ☎693-9947

## 北 京 杉本店

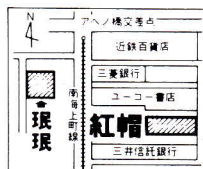
大阪市住吉区山之内3丁目7-3

TEL (06) 606-3348

忘年会・新年会 予約受付中

### 中国庶民料理

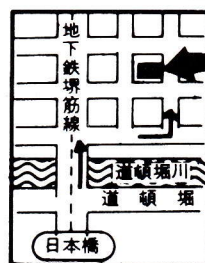
あかん ぼ  
**紅 帽**  
アベノ東店  
☎624-4328



国際観光旅館連盟

ホテル

## くら本



旅館  
くら本

学生コンパ

にもどうぞ

南区島之内2丁目11番7号  
(211)3168

くすり・漢方薬・日用品

## フルヤ薬局

山之内3-8-30

杉本町グランドハイツ

TEL 694-7691

— 北 京 料 理 —

## 天 香

予約承ります

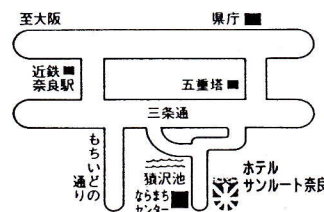
忘年会、新年会、コンパ受付 40名様迄

TEL 694-4933

'90 花の万博と奈良大和路

(万博会場へは近鉄電車で60分)

結婚披露宴 ● ご宴会  
お食事 ● 会 議  
ご宿泊 ●



## ホテルサコルト奈良

奈良猿沢池畔 ☎074222-5151

(ならまちセンター前)



# Members

◎…部長    指揮者    ♪…パートリーダー

## 大阪市立大学混声合唱団 フリーデ

### Soprano

伊藤友香子(文3・県立伊丹)  
大谷 恵(生3・益 田)  
高田ともみ(生3・姫路西)  
♪広田寿美代(文3・富田林)  
三 觜 恵子(経3・高 松)  
井上 紀子(文2・兵 庫)  
金出 晃子(生2・宮崎南)  
根矢 聡子(生2・御 影)  
松門 聡子(生2・明石城西)  
森田 由香(文2・川西緑台)  
砂田 陽子(生1・奈女大附)

龜池 久仁子(法2・八 代)

### Alto

植村 真弓(文4・宝塚西)  
豊田三千代(文4・一 条)  
野村 薫(文4・高 津)  
鬼頭 直子(生3・高 田)  
♪松浦明子(生3・龍 野)  
峯野由美子(経3・畝 傍)  
奥原 順子(生2・土浦一)  
川西 愛(生2・兵 庫)  
松田 理恵(文2・京都女子)  
吉永花子(生2・藤枝東)  
中西小百合(文Ⅱ1・堀 川)  
三浦亜弥(生1・市 岡)  
横山 佳代(理1・泉 陽)

### Tenor

安達 剛(理4・大教大天王寺) ♪伊藤 晃武(文4・福岡大附大濠)  
榎並 義忠(経4・岡山大安寺)  
田宮 茂雄(工4・膳 所)  
中山 和人(商4・四条畷)  
野上 敦史(理4・枚 方)  
宮路 和宏(法4・兵 庫)  
石川 久純(工3・藤 島)  
◎小林 隆一(経3・高 津)  
♪中村 圭司(理3・住 吉)  
大谷 秀樹(工2・倉吉東)  
中谷 成智(工2・岸和田)  
小西 孝昌(工1・岡山白陵)  
中村 文昭(商1・北 野)  
西口 史高(理1・藤井寺)  
人見 亮一(工1・布 施)  
堀川 隆史(文1・清 風)

### Bass

加護野 忠嗣(理4・清風南海)  
中村 肇(商4・奈女大附)  
山 和之(工4・箕 面)  
♪佐藤 知(法3・大教大天王寺)  
天野 正彦(商2・四条畷)  
岩永 慎一郎(工2・県立伊丹)  
中西 久(商2・海 南)  
井上 慎太郎(理1・住 吉)  
乳原 正文(工1・豊 岡)  
川口 幸男(経1・清 風)  
楠瀬 航(商1・高 槻)  
土井 研児(工1・畝 傍)  
藤澤 卓(工1・北 野)  
山口 典久(工1・洲 本)

## 大阪外国語大学グリークラブ

### Top Tenor

♪下 社 学(M4・西 春)  
♪戸田 貴之(T3・英数学館)  
河尻 雅人(A2・恵 那)  
森野 良典(K2・北須磨)

### Second Tenor

稲積 和典(C3・明 善)  
♪山田 道教(U3・岐 阜)  
塩見 直樹(R2・佐伯鶴城)  
林 一 範(K1・横須賀)

### Baritone

江頭 兼俊(D6・佐世保西)  
♪青柳 祐信(D4・津 )  
熊谷 和芳(C4・福 山)  
亀井 実(IN3・膳 所)  
榊原 昭裕(K3・半 田)  
田中 透(R2・高 島)  
関 弘司(C2・亀 岡)  
片山 敦志(ⅡF・2・奈良女子大学文学部附属)  
後沢 郎伸(C1・飯 田)  
福田 裕之(A1・東大附属)

### Bass

阿江 茂(ⅡE4・高 松)  
♪伊藤 晴彦(DM4・長 野)  
◎北村 巧(E4・小樽潮陵)  
水川 登志雄(ⅡE3・総 社)  
山本 邦博(N3・橋 本)  
山口 壮(D2・津 西)  
村井 正和(S1・高松商業)  
山本 恵太(PH1・田 辺)

M: モンゴル語    T: タイ語    A: アラビア語    K: 朝鮮語  
C: 中国語    U: ウルドゥー語    R: ロシア語    D: ドイツ語  
IN: インドネシア語    ⅡF: 二部フランス語    ⅡE: 二部英語    DM: デンマーク語  
E: 英語    N: 日本語    S: イスパニア語    PH: フィリピン語

## 奈良女子大学音楽部

### Soprano

堂下美音子(文4・藤 島)  
坂東 艶子(文4・奈 良)  
保田井かおり(家4・高蔵寺)  
♪小野 和子(理3・甲府第一)  
♪増田 美奈(文3・豊田南)  
森 和美(文3・松山南)  
中城 浄恵(家2・鈴 鹿)  
水越 里香(文2・清泉女学院)  
金田 祐美子(家1・茨 木)  
藤倉 輝味(文1・長 田)  
町田 こずえ(家1・鶴 丸)

### Mezo Soprano

今北 順子(文4・加古川東)  
有家 聡実(文4・松山南)  
江戸 あい子(文4・渋川女子)  
松井 紀子(文4・城 陽)  
♪林 聖子(文3・高 田)  
森本 恵美子(文3・福知山)  
森脇 寿子(理2・下関南)  
上西 有紀子(文1・畝 傍)  
小森 志保(家1・武 義)  
竹下 ひとみ(文1・福 野)  
津野 未来子(文1・岡 崎)  
藤原 恭子(理1・三国丘)

### Alto

小山 裕子(理4・長 野)  
中澤 智子(文4・奈 良)  
藤原 裕子(家4・前橋女子)  
飯田 桂子(理3・大手前)  
◎♪三浦 純恵(家3・菊 里)  
國分 路子(家2・四天王寺)  
村重 淑子(家2・横須賀)  
笹井 靖子(家1・西宇治)  
辻 昌乃(理1・大聖寺)  
山本 真智子(理1・高松西)  
綿野 かおる(文1・彦根東)

## ジョイント実行委員

委員長 榊原 昭裕  
渉外 榊原 昭裕・石川 久純・大谷 恵・森本 恵美子・岩永 慎一郎  
ステマネ 小林 隆一・山本 邦博・三浦 純恵・天野 正彦  
技術 佐藤 知・下社 学・増田 美奈・山 和之  
会計 亀井 実・高田 ともみ・林 聖子  
パンフ 戸田 貴之・吉永 花子・金出 晃子・小野 和子・飯田 桂子



## 編集後記

- 今年初めに眼鏡のレンズを換え幼少の頃の視力をとりもどしたのはいいが、もう三輪車には乗れない。(まぐろ)
- 今年はダリヤは咲かないよ——。(きん)
- フリーデのみなさんごめんなさい。(はな)
- ぼーとして何て言えばいいのかわからないけど、ありがとうございました。(けいこ)
- 黄色い指で原稿書きました。はやくとれないかなあ…(ONO)

—— この演奏会開催にあたり、御協力下さいました方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。 ——

表紙デザイン 広田寿美代

## 定期演奏会のお知らせ

大阪市立大学合唱団フリーデ  
第21回定期演奏会

1990年11月29日(木)  
森ノ宮ピロティールホール

奈良女子大学音楽部  
第26回定期演奏会

1990年11月30日(金)  
奈良女子大学講堂

大阪外国語大学グリークラブ  
第34回定期演奏会

1990年12月4日(火)  
吹田メイシアター大ホール

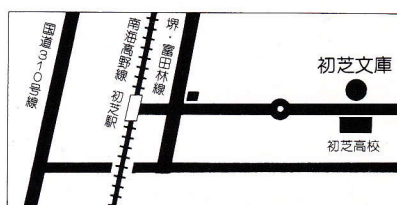
**PS** osaka photo

**(株)大阪フォト サービス カンパニー**

〒550 大阪市西区江之子島1丁目5-17  
TEL 06(443)7608(代表)

## 演奏会・大学祭などのチケット・パンフレット・ポスター等の印刷のご相談お受けします

当社には営業部はありません。全部技術社員のみです。  
従って当社の印刷代金には営業費は含まれていません。ご相談にはご遠慮なくお越し下さい。



南畑高野線初芝駅下車東へ徒歩10分(初芝高校正門前)

企画・写真撮影・デザイン・カラー分解・製版・印刷の一貫作業

**株式会社 初芝文庫印刷部**

〒591 堺市日置荘西町50-13  
☎ 0722-85-0466(代)



**1990.6.21(木)**  
**大阪国際交流センター大ホール**

**大阪市立大学合唱団フリーデ  
大阪外国語大学グリークラブ  
奈良女子大学音楽部**